

X 線撮影時に使用している検査着の種類による、 シワの X 線画像上での見え方の調査

京都府立医科大学附属病院 医療技術部放射線技術課では、検査着の違いが腹部 X 線の画像に与える影響を検討するため、腹部 X 線撮影検査を受けられた患者さんの撮影画像を使用いたします。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

腹部 X 線撮影は病気の状態、手術後の経過観察やチューブの先端位置確認を目的としています。X 線撮影における衣服のボタンやジッパー、下着のワイヤー、ベルトのバックルなどは X 線画像上に映り込み、障害陰影になります。画像上の障害陰影は、放射線の画像診断において、誤診や病気の見逃しにつながる可能性があります。障害陰影等が X 線画像上にあれば、再撮影を行っています。しかし、再撮影は患者さんにとって余分な被ばくになります。そのため、体幹部の X 線撮影時には、X 線画像に影響を与えないという理由で指定の検査着に着替える必要があります。しかし、検査着のシワが障害陰影となり、シワの形状がカテーテル等と間違われ、再撮影を依頼される症例が報告されています。

研究の方法

・対象となる方について

2021 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの間に、京都府立医科大学附属病院一般撮影検査室で腹部 X 線検査を受けられた方

・研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から 2024 年 5 月 30 日

・情報の利用を開始する予定日：2024 年 3 月 1 日

・方法

当院一般撮影検査室において腹部 X 線検査を受けられた方で、診療録（カルテ）より以下の情報を取得します。腹部 X 線検査で取得した画像を参考として、検査着のシワがどのように画像上に写るのか調べます。

・研究に用いる情報について

腹部 X 線検査で取得した画像を仮名化（お名前などの個人を特定できる情報を削除して研究用 ID に置き換え、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないように加工）し使用します。

・個人情報の取り扱いについて

患者さんの腹部 X 線検査で取得された画像をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学附属病院 医療技術部放射線技術課 小谷 静也）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・研究組織

研究責任者

京都府立医科大学附属病院 医療技術部放射線技術課 小谷静也

京都府立医科大学附属病院 医療情報部放射線技術課

職・氏名 技師・小谷 静也（こたに しずや） 電話：075-251-5623

対応可能日および時間：平日 8:30 から 17:00（祝日は除く）